

金沢市立城南学校
平成30年度 学力向上の取組（1学期）

1 研究主題 「自ら学び、考え、豊かに表現できる生徒の育成」
～主体的・協働的な学びからの学力向上をめざして～

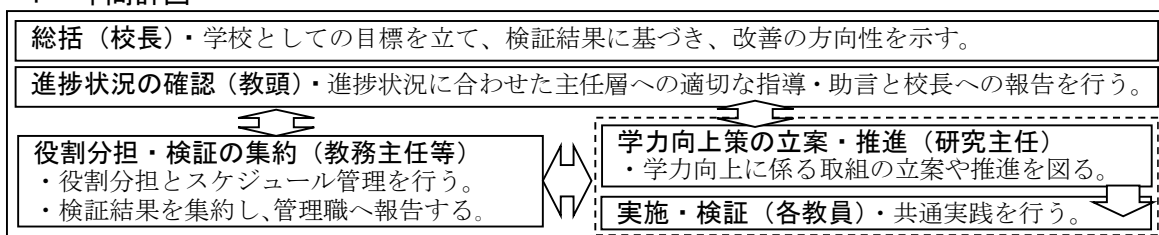
2 現状・課題（3学期の検証結果、学力分析シート、学校評価等から）

<p>(1) 児童生徒の現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の間で話し合う活動を行ったかという設問に関しては、昨年度は一昨年度の回答を10ポイント上回った。城南中の学習スタイルが教員間で定着してきている結果である。 ・過去3年間の全国学力調査では、すべての教科で国を上回ったが、その差は年々縮まりつつある。 ・特にB問題の差の開きがなくなってきている。 ・県の評価問題では、市の平均正答率をすべての教科で下回った。 ・県の評価問題では、問題文を正しく読み取れない、複数資料を網羅して答えを出すことができないなど、問題の読み取りに課題が見られる。 ・県の評価問題のすべての教科で、記述式の問題の多くが市の平均正答率を下回った。条件や資料を比較して表現する力に課題が見られる。 <p>(2) 指導の現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と関連して、複数資料を読み取る問題、条件や資料を比較して記述する問題などに取り組んだ。 ・定期テストで活用力を問う問題を出題した。

3 重点的に行う取組と検証

		授業で行う取組		授業以外で行う取組	
		取組①	取組②	取組①	取組②
重点的に行う取組		「自分で考えます」では根拠を明らかにして書くように指導し、マグネットプレート「考える」を提示し、意識付けをする。	「自分の考えを伝え合います」ではお互いの意見を交流する機会を設け、授業形態を工夫する。	家庭学習の定着と質の向上を図るため、毎日自主学習ノートに取り組む。	毎日の家庭学習時間のあり方を自覚し、取り組む姿勢を身に付ける。
	検証の方法と指標	<p>方法 「自分で考える」時間が確保できた授業は週案に㊦を記入する。</p> <p>指標 月の実施が70%以上</p>	<p>方法 「みんなで考えを伝え合う」時間が確保できた授業は週案に㊦を記入する。</p> <p>指標 月の実施が70%以上</p>	<p>方法 毎日点検し、必要に応じてアドバイスや良い取り組みの紹介をする。</p> <p>指標 毎日実施</p>	<p>方法 生活ノートや自主学習ノート、テスト計画表で学習時間帯を書かせて取り組ませる。</p> <p>指標 毎日実施</p>
	児童生徒の状況	<p>方法 授業アンケートで確認する。</p> <p>指標 肯定的な割合80%以上</p>	<p>方法 授業アンケートで確認する。</p> <p>指標 肯定的な割合80%以上</p>	<p>方法 授業アンケートで確認する。</p> <p>指標 肯定的な割合80%以上</p>	<p>方法 授業アンケートやテストの振り返りで確認する。</p> <p>指標 肯定的な割合80%以上</p>

4 年間計画



月	PDCA	授業で行う取組	研究授業	授業以外で行う取組
4・5月	計画 実践	研究主任 が学力向上策を立案し、全職員と共有する。 全職員 が「自分で考え」「自分の考えを伝え」合う授業を意識して行う。		研究主任 が学力向上策を立案し、全職員で共有する。 全職員 で自主学習ノートや生活ノートの点検をする。
6月	検証 改善 実践	学年主任と教務主任 が取り組みの状況を確認し、学年格差、教員格差の有無、程度を確認する。 研究主任 が指導の状況を確認し、教頭の助言のもと、改善策を提案する。 全職員 が改善策を共通実践する。	椎木教諭 舟塚教諭 確井教諭 徳田教諭 茶林教諭	学年主任 が点検状況を把握し、取組のあり方を確認する。 全職員 できめ細やかなアドバイスや良い実践の紹介をする。 学年会 で取組状況を報告、共通理解をする。
7月	検証	教務主任と研究主任 が生徒授業評価の項目を確認する。 教務主任 が取組及び生徒に関する達成状況をまとめる。 校長・教頭・教務主任・研究主任 が1学期の成果と課題を確認する。		学年主任 が取組の具体的な状況を把握し、必要に応じて助言を行う。 校長・教頭・教務主任・研究主任 が1学期の成果と課題を確認する。
8月以降は、「学力向上の取組（2学期）」「学力向上の取組（3学期）」に基づき実践				
7、8月		全国学調、県基礎学の結果及び1学期の取り組みの成果と課題に基づき、「学力分析シート」を作成する。分析結果から「学力向上の取組（2学期）」を作成する。		
9、10、11月		「学力向上の取組（2学期）」に基づき実践・検証・改善を行う。（～12月）		
12月		12月評価問題を「学力向上の取組（2学期）」の検証の機会とする。 12月評価問題を採点し、成果と課題を明確にする。		
1、2月		12月評価問題の結果に基づき、「学力分析シート」を作成する。 分析結果から「学力向上の取組（3学期）」を作成する。 「学力向上の取組（3学期）」に基づき実践・検証・改善を行う。		
3月		学年末テスト等を「学力向上の取組（3学期）」の検証の機会とする。		